



日本共産党  
北茨城市委員会  
磯原町豊田1030-2

毎週 日曜日 発行

市議団  
ニュース

ご相談は  
お気軽に

市議会議員  
福田 明  
43-0468

市議会議員  
鈴木やす子  
42-2462

# 全国学力テストの市町村別の結果は公表はしないよう

党市議団が  
申し入れ

先月23日、県教委和田芳武委員長が各市町村の教育委員長に「全国学力テストの市町村別結果について公表を前向きに検討するよう」との依頼文を送付したことが報じられました。これを受けて共産党市議団は、11月20日、小西道房教育長に公表しないよう申し入れ、北茨城市教育委員会の姿勢を聞きました。

議員団は、「全国的な学力の傾向を調査するということなら、数%の抽出調査で

十分であるはず。数十億円の予算があるならば、少人数学級のための人員配置や教育環境整備にこそ使われるべき。実施されたことで、全国の自治体と学校が全国学力テストの成績という一元的な基準のもとで競争し序列化されていこうとしている。各自自治体で公表が進めば、いつそう現場に混乱をもたらす。文科省は公表はしないと明記もしている」と、全国一斉学力テストとその公表についての問題点を指摘しました。



## 今年は9羽

(大北橋付近、11/21)

### 平和と友好を願う 「青い目の人形」

野口雨情の「青い眼の人形」と日米親善大使「青い目の人形」。この接点は、1906年(明治39年)のアメリカを襲ったサンフランシスコ大地震に始まる。…中略…

親日家の牧師シドニー・ギューリック博士は、「平和と友情」の精神を育てていくために次世代の国際交流が必要と考え、ひな祭りの伝統を持つ日本の子どもたちに「青い目の人形」を送ることを考えた。

「青い目の人形」を送る計画がスタートしつ

あった1926年(大正15年)、ギューリック博士は渋沢栄一氏に手紙を送っている。内容は、この計画について取材にきた新聞記者に、日本で流行している「青い眼の人形」の歌詞についての照会であり、この歌に関心を寄せる手紙であった。

1927年(昭和2年)の早春、12,739体もの「青い目の人形」が、各都道府県の小学校や幼稚園の子どもたちに贈られ大歓迎を受けた。

(記念館の掲示より抜粋)

雨情記念館で開かれている「青い目の人形展」が、いよいよ11月30日までです。アメリカから友好の証しとして日本に送られた「青い目の人形」は、日米開戦で「敵国の人形」とされま

か守られてきた人形が、約300体。戦後何年も経つてから、ようやく陽の目を浴びています。

### 平和・友好ねがう 「青い目の人形」 雨情館で「展」 今月末まで

教育長は、「これまでお答えしてきたとおり、北茨城市としては公表は考えていない」「教育は単純に点数で計れるものではない。学力

テストについては、学校毎や教師自身が自分たちの教育の改善に役立ててもらえばいいので、序列化することとは本意ではない」と述べました。公表予定の有無を調査する県教委からの緊急アンケートに対しても、「公表の事実はない、今後公表の予定はないと回答した」として

「展示を見て認識を新たにしたい。北茨城の地から平和の発信をしたい」と豊田市長が国文祭のオープニング式典でふれていた」と、ある市民の方が声を寄せてく

れています。

### 寅さんは現代の光源氏

北茨城市議会議員 福田 明

は読み継がれるだろう」と述べている。たしかに、光源氏とそれを取巻く女性たちとの逢瀬の数々もこの小説の魅力の一つにちがいないが、寅さんのように風情ある古びた街でマドンナに出会い、失恋しては旅に出る。これも純でなかなかいい。寅さんはある意味、現代の光源氏かもしれない。

光源氏は絶世の美男子だったといわれるが、寅さんは目が細く、顔が角張って、お世辞にも二枚目とはいえないが、実に味わいのある顔だった。「源氏物語」の舞台が京都なら、「男をつらいよ」の舞台は小京都、何か人気の共通性があるのかもしれない。

瀬戸内の尾道は海沿いの小京都である。ビデオを見ると、どことなく大津と平潟に似ている。かつて大津港の松ヶ崎から見る夕陽は、常陸の国で随一の景観と謳われ、平潟は江戸へ向かう伊達藩の寄港地として賑わった。港町の風情と人情を色濃く残す、このふたつの街に、ふらっと、寅さんが現れる気がしてならない。そう思うのは私だけだろうか。